

件名	中心市街地まちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
112,331		0	10,000	0	0	102,331

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 239 ページ

「町田駅周辺開発推進計画」で掲げる、これからも多くの人々に”町田に行ってみよう、町田で集まろう”と思ってもらえるまちであり続けるために、多摩都市モノレールの新たな起終点ともなる町田駅周辺の再開発を推進し、これからも賑わいと交流が生まれ続けるまちづくりを目指します。

これからの時代のまちづくりにおいては、企業などの民間事業者にまちづくりの主体として積極的に関わってもらふこと、すなわち、民間投資を促すことが重要ですが、そのためには、公共施設の整備を進めることで駅周辺の魅力を向上させ、将来に渡って多くの人々が訪れ、消費が拡大していくことを期待させる必要があります。

そこで、エンターテインメント施設などの新たな機能導入や、ペDESTリアンデッキ、新バスセンター、道路などの交通基盤の整備を行い、民間投資を呼び込んでいきます。



町田駅周辺まちづくりの動き

① A、B、C地区関連【事業費計 57,131 千円】

	【A】 モディ～東急 WEST	【B】 小田急町田駅北口周辺	【C】 西友・パリオ周辺
導入機能イメージ 地区の特性・役割と	鉄道 3 駅が結節する町田の「シンボル」 (新バスセンター、モノレール新駅)	まちの新たな賑わい創出による 「駅前の顔」 (オフィス、シネマコンプレックス) [新バスセンター]	町田の文化や学びを発信する 「交流拠点」 (ライブホール(演劇、ミュージカル)) [新バスセンター]
開発実現までの見通し これまでの取組と	2023 年度から始まった「まちづくり勉強会」は、地権者等の意向を踏まえた検討を行うため、2024 年度から「まちづくり検討会」へ移行しました。 まちづくりはモノレール延伸に合わせて概ね 2040 年頃の完成を目指しており、市は 2030 年頃の都市計画決定を目指しています。	地権者が開発に向けた検討を行っています。 市は歩行者動線の接続などの検討を進めており、2030 年までの都市計画決定を目指しています。	2023 年から始まった「まちづくり勉強会」では、地区内建物の老朽化対策や、共同開発に向けた検討の必要性を確認しています。 市は 2030 年までの都市計画決定を目指しています。

【事業の内容】

ペDESTリアンデッキ、新バスセンター、道路などの交通基盤の整備に向けて、学識経験者、交通事業者、東京都で構成する有識者委員会における検討を取り纏め、「(仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針」を策定します。

町田駅周辺交通基盤等検討委託料	56,496 千円
交通基盤・公共空間等検討委員会謝礼	635 千円

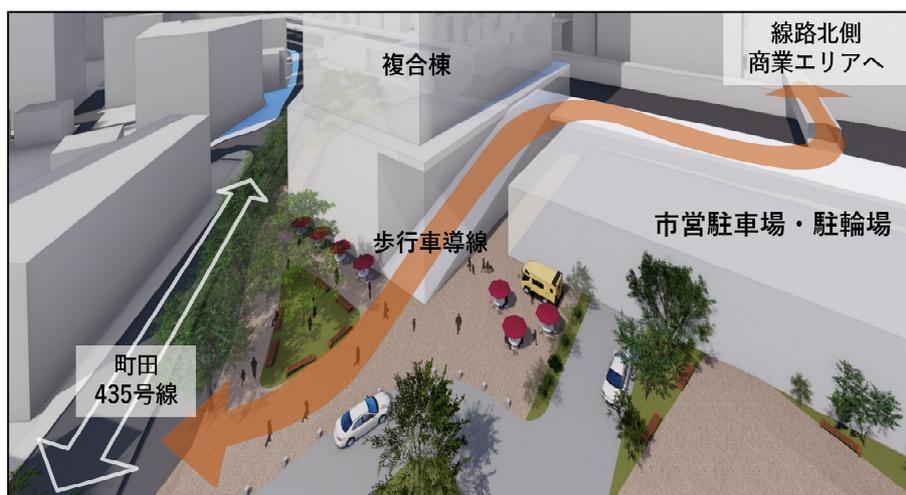
② JR 町田駅南地区【事業費計 55,200 千円】

	JR 町田駅南地区
能イメージ 役割と導入機 地区の特性・	町田駅南側からの人々を迎え入れる「玄関口」 (自由通路、駐車場、広場空間、都市型住宅)
までの見通し 組と開発実現 これまでの取	市営原町田一丁目駐車場の機能更新にあわせたまちづくりを進めるため、2023 年度から、JR 東日本を始めとする地権者と再開発の協議を進めており、2027 年度末までの都市計画決定を目指している。

【事業の内容】

原町田一丁目駐車場の更新を含めた再開発事業に向けてJR東日本と 2025 年度に締結した協定に基づき、共同で測量や基本計画の作成等を行います。

JR町田駅南地区まちづくり検討委託料 55,200 千円



<将来イメージ>

【特定財源】

新たな道路・交通ネットワークをいかしたまちづくり支援事業 10,000 千円

【スケジュール】

	2026 年度	2027 年度	2028 年度～
① A～C 地区	(仮称)町田駅周辺交通基盤・公共空間等整備方針の策定	協議の整った地区から都市計画手続きに向けた準備	
	町田駅周辺まちづくり検討及び関係事業者等との協議・調整		
② JR町田駅南地区	基本計画の作成等	都市計画決定	事業認可

問合せ先	都市づくり部 都市政策課中心市街地開発推進室長 及川	電話	851-7576
------	----------------------------	----	----------

